

試験研究

県民に高品質な畜産物を安定的に提供するとともに
都市と調和した畜産を推進する試験研究を行っています

● 新鮮で安全・安心な畜産物の安定供給と地産地消の推進

- 1 地産地消を推進するための技術開発
 - ・ 県産畜産物の有利販売を支援するための技術開発
- 2 畜産経営の高度化と安定化を促進するための技術開発
 - ・ 県産畜産物の安定生産を実現するための技術開発
 - ・ 技術シーズを創出するための調査研究

● 畜産の有する多面的機能の発揮と循環型社会への貢献

- 3 未利用資源を有効活用するための技術開発
 - ・ 食品残さ等の未利用資源を有効活用するための技術の開発
- 4 環境に調和する畜産を推進するための技術開発
 - ・ 臭気発生が少ない都市型畜産経営技術の開発
 - ・ 家畜排せつ物処理における環境負荷低減技術の開発

普及指導

研究成果及び高度技術の普及指導
畜産の担い手の育成及び確保を行っています

- 担い手の育成・確保に関する支援
- 県民ニーズに応じた安全・安心な農畜産物の生産・販売の取組みに対する支援
- スマート農業の取組みに対する支援
- 気候変動への対応等環境対策や自然災害等への取組みに対する支援
- 地域農業の振興を図るための取組みに対する支援



新規就農者の飼養管理技術の支援
(子牛の哺育技術の指導)



食肉脂質測定装置による肉質評価
(オレイン酸含有量を非破壊で測定)



食育活動の推進
(小学校における食育授業)



飼料用稲の生育調査
(農業技術センターと連携した調査)



かながわ鶏の生産振興に向けた支援
(農場で鶏の発育状況の確認)



牛乳の商品化・販売促進活動の取組支援
(イベント販売での商品アンケート)

組織

所長

副所長

管理課

4名(人事、庶務、予算、財産管理)

企画指導部長

企画研究課

研究担当 12名
現業職員等 34名

企画調整グループ
養鶏・経営グループ
環境グループ
大家畜グループ
養豚グループ
酪農肉牛グループ
養豚養鶏グループ

(試験研究の企画調整、情報活用、飼料の収去・分析)
(鶏の飼養管理技術・改良増殖、畜産経営管理・流通技術)
(家畜ふん尿処理・利用、環境保全技術)
(牛の飼養管理・繁殖技術、飼料作物の栽培技術)
(豚の飼養管理技術、改良増殖)
(牛に関する技術指導、情報提供、相談)
(豚・鶏に関する技術指導、情報提供、相談)

普及指導課

普及指導担当9名

沿革

- 明治40年(1907) 農事試験場に畜産科創設
- 大正 9年(1920) 種畜場を設置(横浜市保土ヶ谷町)
- 昭和18年(1943) 現在地に移転(高座郡有馬村本郷)
- 昭和36年(1961) 畜産試験場に改称
- 平成 7年(1995) 畜産研究所に改称
- 平成17年(2005) 畜産技術センターに改称(普及指導部の新設)
- 平成22年(2010) 農業技術センター畜産技術所に改称
- 平成26年(2014) 畜産技術センターに改称



マーケティング調査手法による
畜産物の有利販売支援技術の開発



生産者ニーズに合った多産系母豚の開発



動物福祉(アニマルウェルフェア)
の取組みにむけた技術開発



後継牛確保対策のためのOPU技術の
実証



かながわ鶏の飼養管理技術の確立



臭気の排出を抑制する環境制御型
養豚施設の実証

土地および建物

土地	175,765 m ²
ほ場	89,829 m ²
放牧地その他	85,936 m ²
建物	77棟 14,919 m ²

家畜頭羽数(生後60日以上)

令和4年4月1日現在

畜種	品種	頭数
乳牛	ホルスタイン	31頭
肉牛	黒毛和種	18頭
豚	ランドレース 大ヨークシャー デュロック 等	201頭
鶏	ポリスブラウン さくらもみじ 岡崎おうはん シャモ	1,166羽



畜産技術センター

Kanagawa Prefectural Livestock Industry Technology Center

かながわの畜産を支える 技術開発と普及



家畜用浄化槽



搾乳施設 (ミルキングパーラー)



細断型ロールベアラによる飼料用トウモロコシの収穫



交通案内

- 小田急小田原線、相鉄線、JR相模線、海老名駅下車
東口から神奈中バス(長後駅西口行)で約20分「畜産研究所」下車
- 小田急江ノ島線長後駅下車
西口から神奈中バス(海老名駅東口行)で約20分「畜産研究所」下車



〒243-0417 海老名市本郷3750
電話(046)238-4056 ファクシミリ(046)238-8634
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/g8f/index.html>



施設見学の受入



施設公開「家畜に親しむついで」



サイエンスサマー「一日獣医師体験」

～畜産との「ふれあい」を提供しています～